

2007年2月5日

報道各位

日本板硝子株式会社

Pilkinton社が中国で建設中のフロートガラス工場が、商業生産を開始

当社連結子会社である英国Pilkinton社が中国江蘇省常熟市で建設・立上げの新設フロートガラス工場が、このたび本年1月より、商業生産を開始しましたので、概要を以下の通りお知らせいたします。

この工場設備は、Pilkinton社と、Shanghai Yaohua Pilkington Glass Co., Ltd. 社（"SYP社"）との折半出資の合弁会社、Jiangsu Pilkington SYP Glass Co., Ltd.が操業する中国国内における最新鋭のフロートガラス工場であります。

当工場は総投資額 RMB715 百万（US\$ 90 百万相当）で、年産約 18 万トンの能力を有しています。地場及び海外市場向けに、2-12mm 厚・ｸﾞﾗｽ・色板の建築用ｸﾞﾗｽ及び自動車用素板ｸﾞﾗｽを供給し、売上は年 RMB 300 百万（US\$ 40 百万相当）を想定しており、雇用人数は約 200 名であります。

常熟市は江蘇省の南東部で、上海市より 90 km に位置しており、良好なアクセス、整備された公共インフラとコスト競争力及び誘致政策により、内外の投資を集めています。

当工場の新設は、NSG/Pilkintonグループにとって、世界の板ガラス生産量の 3 分の 1 を占め、なお高級フロートガラスの成長が期待される中国において、積極的展開の一步となる意義を有しています。

当工場の合弁パートナーである SYP は、1983 年にPilkintonと中国側パートナーによって設立された合弁フロートガラス企業で、1993 年に上海証券市場に上場しています。Pilkintonは現在 19% 出資しており、当工場の他 SYP は 4 基のフロートラインを有しています（上海：2、天津：1、広東：1）。

以上